

劇団解体社

ツケまみれのセリヌー『戦争』『ロンドン』より

劇団解体社は2015年より、怪物的作家ルイ＝フェルディナン・セリヌーをテーマとした連作『セリヌーの世紀』を長期にわたって制作してきました。その成果として、劇団員の森澤友一朗によるセリヌーの訳書『戦争』（2023年、幻戯書房、日仏翻訳文学賞奨励賞）、『ロンドン』（2026年、同）の刊行へと至りました。この演劇から文学への越境的な成果を経て、本作はこれを再び身体演劇へと還流してゆく試みです。



GEKIDAN KAITAISHA Céline en dette —extrait de Guerre et Londres

■構成・演出：清水信臣

■出演：
熊本賢治郎
日野昼子
森澤友一朗
毛利綾花
雨宮士郎
矢野昌幸
Luke Macaronas

■スタッフ：
[振付] 日野昼子
[照明] 河合直樹 (有)アンビル
[映像・記録] 遠藤司
[協力] 青田玲子、しずく、赤岩和美
[宣伝美術] STUDIO TERRY "OVERGROUND"
[翻訳・監修・制作] 森澤友一朗

■日程 / Schedule

2026年
3月21日(土)、3月22日(日)、
3月27日(金)、3月28日(土)、
3月29日(日)
各19:00開演

※受付開始は開演の40分前、
開場は開演の20分前です。
※劇場の構造上、開演するとご入場できない
場合がございます。お時間に余裕を持って
ご来場ください。

■チケット / Ticket 一般3,000円

※座席数確保のため、
事前のご予約をお願いいたします。

■予約・問い合わせ / Booking

劇団解体社
Web: <http://kaitaisha.com>
※専用予約フォームがございます。
Phone&Fax: 042-634-8476
e-mail: gekidan@kaitaisha.com

■主催 劇団解体社

■会場：八王子ドック※地図をご参照ください。



ベベル年代記(2015年12月)



虫けらどもをひねりつぶせ(2016年1~2月)



夜の果ての夜(2016年3月)



悪魔の家のアナキスト(2017年3月)



虐殺のためのバガテル(2018年3月)



死体の学校(2021年3月)

photo by ©宮内勝 (except 死体の学校)

2021年、その発見が世界中をにぎわせ、日本でも朝日新聞などが大きく特集を組んで紹介した、ルイ＝フェルディナン・セリヌーの連作小説『戦争』、『ロンドン』——この両小説は第一次大戦と正面から競り合ってゆくような戦争の書であるとともに、戦争によって決定的に失われた戦前の世界の亡霊たちを召喚する憑在論的書物でもある。われわれはこの両小説を貫くモチーフとして「負債」、「パラサイト」、「喪とメランコリー」の三つの鍵概念を取り出しつつ、構成を行ってゆく。解体社がこれまで探求してきた、行為主体としての人間身体の裏側にひそかに息づく「憑く」身体と、セリヌーの文体実験を主導していった、あらゆる暴力性が音楽の平面へと再構成されてゆくような「憑く」言語とは、そこにおいて新たな「人体言語」への道を切り開いてゆくこととなるはずである。

〒192-0902 東京都八王子市上野町111-3 八王子ドック
Hachioji Dock, 111-3, Uenomachi, Hachioji-shi, Tokyo
JR線「八王子駅」南口より徒歩18分

